

# 光ファイバHDMIケーブル敷設説明書 (Rev.2.0)

## 【はじめに・・・】

- 本製品は光ファイバを使用しております。  
ケーブルを鋭角に曲げたり、無理な力で引っ張ると、**クラックの発生や、断線に繋がります**ので、以下の点に留意して、敷設願います。

## 【主な物性】

ケーブル許容曲げ半径 : 施工時 **6mm**以上、敷設時 **15mm**以上  
 ケーブル許容張力 : **200N**以下(約20kgf以下)  
 使用温度範囲 : **0℃～50℃**  
 結束するときの締め付け力 : 指を締めても痛くない程度

## 【事前準備】

- 束巻きの状態で、そのまま繰り出すと**ケーブルに捻れ**が生じ、不具合の原因となります。



そのまま繰り出すと・・・



**ケーブルに捻れ**

- 予め、**8の字巻き**にしておくか、**ケーブル繰り出し機**を使用してください。



✓ 8の字に巻いたところ



✓ ケーブル繰り出し機(例:ターンテーブル)

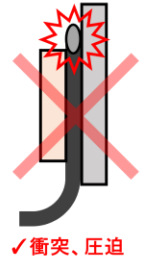
## 【配管への敷設方法】

- 配管は、AOC専用が望ましいです。他の配線と干渉しないよう配慮してください。
- 通線の際は、メッセージファイバなどを用い、**許容張力を必ず守ってください。コネクタやケーブルに、過度な負荷が掛かるのを避けてください。**
- 配線屈曲部において、配管が切断されている場合は、一旦、ケーブルを配管から引き出してください。このとき、ケーブルは必ず、**8の字に巻き、捻れや折れに注意**してください。



## 【敷設方法】

- **許容曲げ半径**は必ず守ってください。
- **鋭利なコーナー**への加圧は避けてください。
- 硬いものとの**衝突**、他の部材による**圧迫**などは避けてください。

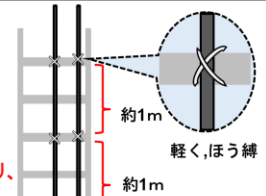


余ったケーブルは、ループを作り、余長処理を行ってください。  
 ループ直径は、【ケーブル径の20倍以上】を推奨します。



## 【ラック等への敷設方法】

- 縦引きの場合、ケーブルの自重によるズレを防止するため、**約1mおきに、結束バンドなどでラックに軽く、ほう縛**してください。
- 結束バンドやインシュロック等で固定する場合は、**締めすぎに注意**してください。締め付け力は、指を締めても痛くない程度を、目安としてください。**きつく締めすぎると、光ファイバの損傷や曲げにより、損失増加の原因**となります。
- ラックへ転がし配線する場合、後から作業する業者の工事などにより、本ケーブルに対して何らかの負荷が掛からないように、配慮してください。**複数本を束ねる場合は、ケーブルに弛みが生じないようにしてください。**



- 固定した結束バンドを支点として、**ケーブルに斜めの張力**が掛かるような場所には固定しないでください。